実践記録

「志津里山自然学校」プログラム①

「開校式・森に小道をつくろう」

実施日	活動場所	参加者	講師	スタッフ
2022.5.22 9:00～15:30	馬場町奥村但馬守館跡周辺の山林	26名	池田勝先生 山元義宣先生	12名（まち協2名　まちセン2名 アイ・フォレストクラブ5名　市3名）

開校式　10:15～10:30

司会・進行・・水野（市）

1.「志津里山自然学校」山元校長の挨拶（山元様）

2. プログラム説明とお願い（福永）

3. スタッフ紹介（山元様）

4. 配布物品等の説明（成相）　➡開校式後に配布



山元校長のあいさつ

自然観察「ネイチャーゲーム」　10:30～12:20

講師　池田勝先生

ねらい　五感を使って里山の自然を感じよう！

生物多様性の学び　里山の生物多様性に気づく。

1. 森遊びの安全についての話

2. 自然物でネイチャーゲーム

①自然物でじゃんけん・・小枝（チョキ）、ヒノキぼっくり（グウ）、葉（パー）を使って

②じゃんけんでヒノキぼっくりをゲット・・名前を言ってから 勝つと一つもらえる

③目を使って人工物を探せ・・事前に隠した人工物を見つける

「この森の中にもみんなが気づいていないものが一杯ある。見えていないだけで、実はいろんな生き物がいますよ。」【生物多様性を知る】

④どんな音が聞こえるかな？

「一杯いるけれど見えていないだけだよ。」【生物多様性を知る】

⑤さらに目（ルーペ）を使ってみよう！

シダの葉　苔　杉の木の幹や皮　皮を剥いで中にいる虫　年輪　蛾など
樹液の匂いを嗅いでみよう　触ってみよう　【生物多様性を知る】

⑥次は手を使ってみよう！・・袋の中にあるものと同じものを見つけよう！

⑦じゃんけんで・・負けた人は木を触ってくる　あいこはその場で回る

⑧かくれんぼをしよう・・木の後ろに隠れ私の方を覗いてピヨピヨと泣いてください。

⑨「だるまさんが転んだ」をしよう



いろんな生き物がいるよ



ルーペで未知の世界を



袋の中にある物は何かな？

昼食・休憩　12:20～13:30

昼食・休憩➡「スケッチブックタイム」

※参加者が、午前中の振り返り等を自主的にスケッチブックへ書き込む。

森の小道づくり　13:30～15:00

講師　山元先生

ねらい　めざす里山「〇〇な里山にしたいな」をデザインする。

①里山のデザインについて説明（山元先生）

②里山を散策

③ポイント1でめざす里山を考えスケッチブックに描く

親子で楽しく考える姿が見られた。

④考えを交流（数名の子どもが発表）

「川がほしい。橋をつけたい。」「石の階段がほしい。」「ターザンの森にしたい。」「真ん中に小道をつくると景色をこわす。」「巣箱やトンネルをつくりたい。」

⑤ポイント2でめざす里山を考えスケッチブックに描く

ポイント1から見えた里山とは違った景色が見られ考えが広がった。

⑥考えを交流する

各子どもの発表に山元先生が共感と称賛を交えたコメントをすることで、5名の子どもが意欲的に発表。

「周囲に道をつくり中央には道をつくらない。いい景色なので。」「いろんな生き物がやって来るようにしたい。」「今の環境をいかしたキャンプができる広場がほしい。」「星の展望、冬の果実が食べられる、水の体験ができるといい。」「木と木の間にロープでブランコをつくる。休憩する小屋もつくりたい。」

振り返り　15:10～15:25

今日一日の活動を振り返り、アンケート用紙に記入する。（以下感想例）

質問1　一番楽しかったこと・心に残ったことは？

「初めてルーペで見た虫や木の葉、木の枝が拡大されて不思議な感覚をあじわった。」

「森の小道のプランを考えることが楽しかった。」

質問2　新しい発見・初めて知ったことは？

「ルーペでいろいろなものを見つけたこと。」

「森のデザインの難しさと、見る方向によって森の見え方が違うこと。」

質問3　その他、思ったことなどは？

「森が涼しく居心地よかった。リフレッシュできた。」

「自分たちが里山づくり数十年計画のスタートをしたこと。そして将来この道の計画を自分たちがしたと自慢する。」

「人と生き物がそれぞれ集まれるような里山がつくれたらうれしいですね。」

「子どもたちの考えに共感したり、ほめてくださったりしたことがよかったです。」

■参加者解散　15:30

各自で馬場町会館へ移動

■スタッフ反省会

今回は5月31日（火）に実施

■本実践の評価は別紙参照

別紙　令和4年度「志津里山自然学校」プログラム①「森に小道をつくろう」の評価



里山への思いを語る校長



「里山を散策しよう！」



「こんな里山にしたいな」



考えの発表・交流



今日一日の振り返り